

有機的な結合の中で生き、ミングリングされた霊の中で生きることによって、
またキリストの死に同形化されることによって、
キリストのからだの実際の中にいる

聖書：ヨハネ 15:4-5. ローマ 12:4-5. 8:4. I コリント 6:17. 12:12-13, 27. ピリピ 3:10

I. わたしたちは、キリストとの有機的な結合の中で生きることによって、キリストのからだの実際の中へと入ります——ヨハネ 15:4-5. I コリント 1:30. ローマ 12:4-5 :

A. 神が人と持つことを願っている関係は、神と人が共に接ぎ木され、こうして有機的な結合の中で一となることです—— 6:3-5 :

1. 神は、神聖な命と人の命が共に結合されて、一つの命となることを願っています。
この一は、有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です—— 3-5 節. 11:17-24。

2. キリストの中へと信じることは、彼を神聖な命としてわたしたちの中へと受け入れて、わたしたちが神聖な命の中で彼との有機的な結合を持つことです——ヨハネ 3:15. 15:4-5。

B. ローマ第 12 章は、有機的な結合の角度から、結合する命から、わたしたちをキリストだけでなくキリストの他のすべての肢体とも結合する命から、からだについて語っています——ローマ 12:4-5 :

1. クリスチャン生活の焦点、中心は、からだです。からだは神の啓示の最高点であり、神の継続する働きの究極の項目です—— I コリント 12:12, 27. エペソ 1:22-23. 4:4, 12, 16. 5:23, 30. コロサイ 2:19。

2. わたしたちはキリストの中で一つからだであり、彼と有機的な結合を持っています——ローマ 12:4-5 :

a. 「キリストの中で」は、キリストと有機的に一であるという事実を常に暗示します。

b. この結合は、わたしたちを命の中でキリストと一にし、また彼のからだの他のすべての肢体と一にします。

c. このからだは、組織や社会ではなく、完全に一つの有機体です。それはわたしたちがキリストと共に持っている命の中の結合によって生み出されました—— I コリント 6:17. 12:27。

3. からだの中で正しく有機的であることは、キリストと有機的に結合されることです——ローマ 12:4-5 :

a. このからだは、キリストとの有機的な結合の中で共に維持されているものです。

b. からだの実際は、キリストとの有機的な結合の中にとどまっているものです——ヨハネ 15:4-5。

II. わたしたちは、ミングリングされた霊の中で生きることによって、キリストのからだの実際の中に生きます——ローマ 8:4. I コリント 6:17 :

A. 神の唯一の定められた御旨は、ご自身をわたしたちとミングリングして、彼がわたしたちの命、性質、内容となり、わたしたちが彼の表現となることです——ヨハネ

14:20. 15:4-5. エペソ 3:16-21. 4:4-6。

B. キリストのからだは、神・人であるキリストの拡大、すなわち、神と人とのミングリングである方の拡大です——ルカ 1:31-35. エペソ 1:22-23. 4:16 :

1. わたしたちは、神と人とのミングリングの観点からキリストのからだを理解する必要があります—— I コリント 6:17。
2. 福音書において、神と人とのミングリングは、かしらを生み出しました。使徒行伝において、神と人とのミングリングの拡大は、キリストのからだを生み出しました——エペソ 1:22-23. 4:15-16。
3. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、ご自身を彼の贖われた人々と彼らの人性の中でミングリングします。そのミングリングはキリストのからだの真の一です—— 3 節. ヨハネ 17:21-23。
4. キリストのからだとしての召会は、神にミングリングしていただき、神とミングリングされている一群れの人々です——エペソ 3:16-21。
5. キリストからだの実際は、神・人による生活です。彼らは人性と神性とのミングリング、神性と人性とのミングリングによって神と結合され、ミングリングされ、神をもって共に構成されています—— 4:1-6, 15-16。

C. キリストのからだは、絶対にミングリングされた霊の中の事柄です。こうして、キリストのからだの実際の中にいることは、ミングリングされた霊の中で生きることです——ローマ 8:4. 12:4-5. I コリント 6:17. 12:12-13, 27. エペソ 2:22. 4:16, 23 :

1. 神と人との結合は、二つの霊、すなわち神の霊と人の霊との結合です (I コリント 2:11-16)。これら二つの霊の結合は、聖書の中の最も深い奥義です。
2. 神のエコノミーの中心点は、ミングリングされた霊、すなわち神の霊と人の霊とのミングリングです。神が行なおうとする、あるいは完成しようとすることはすべて、この中心点と関係があります——エペソ 3:9, 5. 1:17. 2:22. 4:23. 5:18. 6:18。
3. I コリント第 6 章 17 節が暗示している事は、驚くべきことであり、深く広いのです。
4. 主と一つ霊であることが暗示するのは、わたしたちが彼の中にいることと、彼がわたしたちの中におられることです——ヨハネ 15:4-5。
5. わたしたちと彼は、有機的にミングリングされ、ブレンディングされ、命の中で一になっています。わたしたちとキリストは、一つのすばらしい、生ける実体です—— I コリント 12:12。
6. 神の霊と人の霊は、わたしたちの内側でミングリングされて一となっています。それによってわたしたちは神・人の生活、すなわち神であるが人であり、人であるが神である生活をすることができます。これがキリストのからだの実際です——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半。

Ⅲ. キリストのからだの実際は、キリストの死に同形化される団体的な生活です——ピリピ 3:10. ローマ 12:4-5. I コリント 12:12-13, 27 :

A. キリストの死に同形化されることは、キリストの死を鋳型とすることです——ピリピ 3:10 :

1. キリストの死の鋳型は、キリストが人の命を絶えず死に渡して、御父の命によっ

て生きた経験を指しています——ヨハネ 6:57. 5:19. 4:34. 5:30. 7:18. 17:4。

2. イエスの生活は、わたしたちの模範です。わたしたちはこの模範の大量の複製であるべきです—— I ペテロ 2:21. ローマ 8:29。
 3. わたしたちの生活は、キリストの死の鑄型に同形化されるべきです。それはわたしたちが日ごとに人の命に死んで、神聖な命を生きることによります——ルカ 9:23. ヨハネ 12:25-26。
- B. わたしたちは、キリストのからだの実際の中にいるために、十字架を通してキリストの死に同形化される必要があります——ピリピ 3:10 :
1. 十字架、すなわちキリストの死は、わたしたちがクリスチャン生活をする道の中心性であり普遍性であって、神の定められた御旨を成就します。
 2. わたしたちの経験において、キリストと共に生活することにおける転換点は、十字架です。
 3. わたしたちはキリストの継続として、毎日、十字架につけられた生活をすべきです—— I コリント 15:31. II コリント 4:10-11。
- C. そのように自分自身に死んで神に生きる生活は、最初の神・人であるキリストが、彼の多くの肢体、すなわち多くの神・人の内に形づくられて、彼の有機的なからだを建造するためです——ガラテヤ 4:19. エペソ 4:12, 16。
- D. わたしたちは、絶えずキリストの死をわたしたちの生活の鑄型とすることによって十字架につけられた生活をする者たちでなければなりません。このような団体的な生活によってのみ、わたしたちはキリストのからだの実際を持つことができます——ピリピ 3:10. ローマ 12:5. I コリント 2:2. 12:27。